

2050年の社会が豊かで持続可能な社会であるために、私たちは地球環境への負荷を最小限にする挑戦を続けます。



今回のトピック



生物多様性の保全を推進し
人と自然が共生する社会を目指します



世界中で豊かな自然が失われています。

私たちいすゞグループは、世界中のいすゞの仲間たち、いすゞの周りの沢山の
人たちと力を合わせ、地域本来の自然を取り戻す活動を行なっています。

地域の生物多様性を保全する活動

※生物多様性：いきものたちの豊かな個性とつながり

藤沢 いすゞの森 / 栃木 渡良瀬遊水地の保全



いすゞの工場の周りには沢山の自然があり、その自然の恵みである地下水やきれいな
空気を使っていすゞは自動車を作っています。

この豊かな自然を次の世代に引き継げるように、地域の人たちと一緒に工場の周りの
自然を保護し、それぞれの地域に固有の生態系を保全する活動を行っています。

工場敷地内の生物多様性を保全する活動

近隣大学との協働による工場敷地内の生物の調査・共同研究の実施



自動車に詳しいいすゞの社員ですが、生物のことはあまり詳しくありません。
そこで生物に詳しい大学の先生たちに協力していただき工場の敷地の中にある動植物を
調査し、どの様に保全していくかを考えています。

工場の調査結果は大学の研究に使用してもらうことでお互い協働しています。

工場敷地内の緑地の整備・管理



いすゞの工場はとても広く、緑地も沢山あります。

しかし緑地は放っておくと強い外来種が繁殖し、地域固有の在来種が減少してしまいます。
地域本来の姿を取り戻すため、従業員が力を合わせて手入れをして、元気な緑地にする
活動をしています。